

□議員名：長谷川知司

#### 1 学校教育とボランティアについて

論点	市内全ての学校をコミュニティスクールに指定して、まちづくりのボランティア等で地域連携を行っているが、福祉（手話）ボランティアはどのように考えているか。
回答	手話については、学校によっては既に取り入れているところもあり、手話を通しての学習は相手の立場への理解や思いやりの心を育む学習内容として非常に良いものと認識している。福祉ボランティアについての個々の具体的な取り組みは、学校の主体性に任せたい。

#### 2 入札制度について

論点	市内業者を優先的に指名する基準はどのようにしているのか
回答	競争性を確保するために、標準業者数を決めている。指名する場合は、最初に市内業者を指名し、準市内業者、市外業者の順に指名している。適正入札価格の維持のため、特別な事情がない限り標準業者数で指名している。

#### 3 埴生地区等の再整備計画と跡地利用について

論点	施設再編で不要となる施設の跡地計画は、施設利用期間中でもスピードを持って跡地計画が立案できる部署が必要ではないのか。
回答	今後、公共施設の再編計画が進むと、統廃合などで施設の跡地利用計画が当然必要となる。解体、整地、利用計画等を特別の機関で計画するのも一つの手法と思う。

#### 4 交流及び定住人口拡大の施策について

論点	少子高齢化に対する施策として、交流人口及び定住人口の拡大があると思うが、具体的な手法はあるのか。
回答	幅広く様々な手法を行っているが、なかなか効果が出ていないのが実情である。今後は山陽小野田市の単独で行う手法とともに、広域での連携も含め様々な手法を検討していきたい。